

2019年度 施策マネジメントシート【2018年度実績評価】

作成: 2019年 6月 11日

施策番号 1-2-1	施策名 安心して生み育てることができる子育て支援	基本目標 誰もが健やかに生き生きと暮らせるまちづくり
		政策名 子育てしやすいまちづくり
	主管課 子育て支援課	課長名 杉山 ゆかり
	施策関係課 住民生活課	内線 580

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図			結果	
妊娠・出産、子育てに関する悩み・不安の解消と地域社会の理解を深めることにより、まち全体による子育て支援体制の充実を図ります。			・妊娠・出産及び子育てに対する不安や悩みを解消する ・子育てに対する地域社会の理解を深める			子育ての支援体制が充実し、安心して生み育てることができる	
成果指標	説明	単位	2011年度(策定時)	2017年度実績	2018年度実績	2018年度目標	
① 出生数(H25～H30平均)	母子健康手帳交付数	人/年	172.0	124.8	122.0	170.0	
② 育児が楽しいと感じる親の割合	乳幼児健診アンケート	%	89.8	87.6	86.8	90.0	
③ 安心して子育てができる環境であると思う町民の割合	住民意識調査	%	63.7	69.7	66.5	65.0	
成果指標 設定の考え方	①は、「公立芽室病院で出産する町民の割合」(H20・21)、「合計特殊出生率」(H22-24)から、母子健康手帳交付数(H25-)に変更するとともに、H28年度シート作成時から、当該年度を含む5か年平均の数に見直し、策定時に近い170人/年を目指すため、成果指標に設定。 ②は乳幼児健診アンケート結果、③は住民意識調査結果を引き続き成果指標に設定。						

2. 施策の事業費

	2017年度決算	2018年度決算
施策事業費(千円)	437,464	398,394
人工数(業務量)	11.4620	11.2733

3. 施策の達成状況

(1)施策の達成度とその考察			
①2018年度の成果評価(前年度比較)	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	成果指標①は全国的に少子化傾向。 成果指標②及び③は前年度より若干低下。
②第4期総合計画(後期実施計画)の最終的な目標達成状況	<input type="checkbox"/> 目標は達成できた <input checked="" type="checkbox"/> 目標は概ね達成できた <input type="checkbox"/> 目標は達成できなかった	根拠(理由)	・①は、全国的に少子化となり、子どもを産む女性が減少傾向であるが、出産を望む人が出産できるように経済的支援及び相談支援を行った。 ・②と③は、「子育て支援センター」、「子育て世代包括支援センター」、「発達支援センター」を整備し、安心して子育てができる環境や支援体制の充実に努めた。
(2)施策の成果評価に対する第4期総合計画(後期実施計画)の事務事業総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	子育て支援センター運営事業 妊婦相談・支援事業 子育て世代包括支援センター運営事業 発達支援センター運営事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	●少子化が進行する中で子どもを望む人に対して、不妊治療の助成を男性まで拡充し、妊婦一般健診費用を全額助成することにより、経済的な負担軽減を図った。 ●安心して出産・育児ができるように「子育て世代包括支援センター」を設置し、きめ細かい相談対応と継続的な支援を行った。 ●発達支援システムを充実させ、発達に支援が必要な児童に対し、一貫性と継続性のある支援を行った。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

進捗結果	A	B	C	D	E
			○		

※該当に○印

- A:実現した
 B:(後期実施計画策定期と比較して)大きく前進した
 C:(後期実施計画策定期と比較して)前進した
 D:(後期実施計画策定期と比較して)変わらない
 E:(後期実施計画策定期と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<p>〈施策を取り巻く状況〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国的な問題として、子どもの貧困対策と児童虐待が取り上げられている。 ・少子化・核家族化の進行により、地域になじめず養育に悩みを抱える親への支援。 ・今後の予測 ・町独自の子育て世代の経済負担軽減の拡充と貧困などの課題を抱える子どもの早期発見・早期対応。 ・社会全体で子育てを支援する体制の構築。
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども医療費の助成対象拡充を求める意見がある。 ・子育て世帯の経済負担の軽減と子どもの貧困対策。

5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画期間において新たに取り組むべき課題)

●課題① 子育て世帯の経済負担の軽減

- 2019年4月から、ひとり親家庭等及び子ども医療費の助成対象者を拡充する。
 2019年10月から、国の児童教育無償化制度に併せ、町独自の支援策を実施する。
 子どもの居場所づくりを推進し、貧困等の悩みを抱える子どもの早期発見と早期対応。

●課題② 子育ての不安を解消する体制の整備

- 妊娠から出産、出産後の母子への支援として、相談体制の強化と産後ケアを充実させる。
 「発達支援システム」による一貫性と継続性のあるサポートを継続する。
 児童虐待の未然防止のため、養育上の課題の早期発見と早期対応。

6. 総合計画推進委員会(庁内評価)

評価	「子育て世代包括支援センター」の設置等、継続的な子育て支援システムを充実させたことにより、前進したと評価する。	A	B	C	D	E
今後の取組に対する意見	一貫性と継続性のある子育て支援を継続して実施してもらいたい。	進捗結果	○			

- A:実現した
 B:(後期実施計画策定期と比較して)大きく前進した
 C:(後期実施計画策定期と比較して)前進した
 D:(後期実施計画策定期と比較して)変わらない
 E:(後期実施計画策定期と比較して)後退した

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	安心して子育てができる体制が整えられ、サービスの拡充も図られていることから、策定期と比較して前進したと評価する。	A	B	C	D	E
今後の取組に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・行政がすべてのサービスを提供するのではなく、育児ネットや町内会などと連携して子育て環境を充実させてほしい。 ・パパママ教室など参加者同士のネットワークづくりにつながる取組を継続してほしい。 	進捗結果	○			

- A:実現した
 B:(後期実施計画策定期と比較して)大きく前進した
 C:(後期実施計画策定期と比較して)前進した
 D:(後期実施計画策定期と比較して)変わらない
 E:(後期実施計画策定期と比較して)後退した